

札幌トレセン大会報告書

2016. 8. 24

札幌4種技術委員会（早津）

1、大会名・日程 トレセン交流大会 U11 札幌開催 2016. 8. 8 (Mon) ~ 9 (Tue)	
2、参加選手（ ）内は所属チーム 片桐 涼 (JSN)、砂原明翔、生田梓恩、泉 壮也 (以上L-WAVE※3人とも2日目欠席)、下島一星 (元町北※けがのため2日目欠席)、清水蒼翔、吉岡莉来 (以上札幌緑※吉岡はけがのため2日目見学)、青木結道 (リベルタ栄町)、川上春祐 (元町)、室谷柊羽、室谷柚羽、矢野正流、石川智也、懸樋桜大 (以上TIPS)、赤星 陽、沖野蒼真 (以上新光)、山根瞭作 (ニューノース)、三平瑛太、村尾瑠唯 (以上開成※2人とも2日目のみ参加)	
3、引率者名 政時卓矢 (TIPS)、小門祐太 (JSN)、早津拓加浩 (元町北)、浜岡 卓 (イーストガンバ)	
4、大会結果 1日目 北地区B0-1北空知B 北地区B1-6南地区B 北地区B3-3中央B 北地区B3-5東地区B 北地区B3-0西地区B 北地区B0-6小樽B 北地区B0-9旭川B 北地区B2-5東地区B	
5、成果と課題 U-11になり、テーマを「守備」に重きを置いてトレーニングをしてきた。そのテーマを生かすために、フォーメーションを3-1-2-1にして試合をした。また、ポジションを固定させず、毎試合ポジションを替え、いろいろなポジションにチャレンジさせた。 <成果> <ul style="list-style-type: none">• お互いの距離が良いと、チームとして連続した守備ができ、そこから攻撃に転じることができた。• 攻撃は手数をかけず、シンプルにフィニッシュまで行くことができた。• 不慣れなポジションながら果敢にチャレンジし、そのポジションの特性や役割を理解しようとしていた。 <課題> <ul style="list-style-type: none">• 相手にボールを回されると、ズレてマーク（プレス）に行けなくなり、互いの距離感が悪くなってしまった。• 声のコミュニケーションが十分ではなく、マークにつくことやスペースを埋めることが遅れる場面が多々あった。• コントロールなど技術的な問題でボールが簡単に奪われることが多かった。• 利き足に頼ったプレーが多かった。• チームの事情や負傷もあってメンバーがそろわず、日程的にハードだった。	